

第 2 回神崎郡ごみ処理施設整備基本計画検討委員会 会議録

【開催日時】 令和 3 年 10 月 6 日（水） 13：30～16：40

【開催場所】 中播北部クリーンセンター 会議室

【出席者】 委 員：野邑奉弘 増原直樹 森明文 前田盛雄 藤本和弘 森本浩子 永良和代
中井美知子 多田正樹 内藤智 藤本忠義 吉村陽 大畑明宏 平岡民雄
坂本和昭 大塚久典（順不同・敬称略）

事務局：藤原広行 藤尾浩之 東郷哲

支援委託業者：中外テクノス(株) (2名)

【傍聴人】 なし

1 開会

事務局の進行により開会。

2 委員長挨拶

野邑委員長：勉強会へのご参加、ありがとうございます。知識の共有化と施設のイメージ化ができてきたのではないかと思います。それをどのように計画に収めていくかが大事です。今日、建設予定地を見てきましたが、良い施設ができるのではないかと感じています。この委員会で検討できる部分については徹底的に検討していきましょう。

3 他施設紹介DVDの上映（美作クリーンセンター）

事務局：他施設の視察を計画していましたが、新型コロナウイルス感染拡大の影響により、どの施設も見学を受け入れできないとのことでしたので、美作クリーンセンターさんからDVDをお借りしました。美作クリーンセンターのパンフレットも資料として配布しています。12分程度になりますがご覧ください。

<DVDの視聴>

事務局：中外テクノスより、補足説明をいたします。

<中外テクノスより、施設の周囲の状況等について補足説明>

事務局：議題に入る前に、本日は委員の全員に参加いただいております、委員会が成立していることをご報告いたします。

4 議題

(1) 前回委員会の会議録について

委員長：それでは議題に移ります。前回委員会の議事録について、何かご意見はありますか。また気付いた点があれば事務局までご連絡ください。

(2) 施設規模及び計画ごみ質の設定について

委員長：次の議題について、資料の説明をお願いします。

<中外テクノスより、資料2を基に説明>

委員：ごみ質のカロリーは何に関係してくるのでしょうか。また、製品プラスチックの分別により、どのような影響があるのでしょうか。

中外テクノス：炉の容積や排ガス処理設備の大きさに影響します。製品プラスチックの分別により、カロリーが現在よりも下がるのが想定されます。

委員：各町で排出量、原単位に違いがありますが、原因は何ですか。

中外テクノス：分別の違いや地域性の違いと思われます。

委員：カロリーが高い方が熱量は大きくなるのですか。

中外テクノス：そのとおりです。

委員長：補足として、低位発熱量は発熱量から蒸気分のエネルギーを除いた熱量になります。

委員：表に「丸め」と記載があるのはどういう意味ですか。

中外テクノス：数字を四捨五入しているという意味です。なお、高質ごみは低質ごみの2.5倍以内に収めることが望ましく、弊社は2倍程度が望ましいと考えています。

副委員長：人口について、人口ビジョンの値を使用するという事は問題ないと思いますが、図において実績値と将来推計値が分かるようにした方が良いと思います。各町の原単位が増加している原因が分かれば教えてください。また、施設規模について災害廃棄物の対応として5～10%の余裕を持たせる考えには賛成です。他市事例はどのようになっているのでしょうか。

中外テクノス：ご指摘の部分については修正いたします。人口については実績値と将来推計値の変わる部分で補正が必要と考えています。ただし、施設の規模には影響しない程度と思われます。原単位が増加している原因について、一般廃棄物処理基本計画策定前まではごみ量が減少傾向にあったため、トレンド予測による将来推計値も減少となっていました。その後景気が良くなったことでごみ量は全国的に増加し、原単位も増加しています。各町の状況については聞いてみないと分からない部分があります。災害廃棄物の対応分として、災害を経験している自治体はその実績値を用いていますが、災害を経験していない自治体は5～10%の余裕を持たせていることが多く、最近では5%が多いように感じます。余裕を持たせすぎると運転に支障をきたします。

委員長：想定外の事態は起こるものですが、会計検査で設定の理由を聞かれるということですね。

中外テクノス：実績値は理解がされやすいです。

委員：兵庫県は災害を受けた実績は少ないと思います。

委員：災害時における他自治体との協定はないのですか。

中テクス：大阪府はあります。兵庫県のことは勉強不足で把握できていません。

委員：今から協定を結んで、それを10%の根拠にするということも考えられます。

中テクス：余熱利用計画の検討に必要であるため、現在までに把握している情報で施設規模を算出しています。

委員長：適当に算出してはいけないということですね。現状の想定はこのような規模であるということでもよろしいでしょうか。検討したということが重要です。

委員：ごみ組成調査結果をみると、容器包装プラスチックに製品プラスチックが混入しているということのようですが、それは悪いことなのですか。

中テクス：プラスチックの分別は非常に難しいので、ある程度は仕方ないことかもしれませんが、おそらく施設における手選別で弾かれて可燃ごみに回されているものと思われます。容器包装リサイクル法では、作っている者、使っている者が資源化費用を負担するという考え方になっていますので、分別ができていないとその負担を製造者や自治体が増担することになります。

委員：将来的にプラスチックの分別をどうしたら良いかが分かりません。施設で分別するというのもひとつの方法ではないでしょうか。プラスチックを燃やさないで熱量が足りなくなるということはないのでしょうか。プラスチックを燃料として使うという考え方もあると思います。

中テクス：製品プラスチックの分別は循環型社会形成推進交付金の要件となる可能性が高いので、全国的には分別する方向に進むと思われる。既にプラスチックを燃やすことを前提に施設を整備している自治体は困っているようです。また、二酸化炭素の排出量を削減するという意味での貢献もあります。

委員長：委員の気持ちはよく分かりますが、今、国は二酸化炭素排出量の削減を非常に重視しているという背景があります。

委員：ごみ量は景気の影響を受けるということのようですので、施設規模の算出の際には新型コロナウイルス感染拡大の影響も踏まえるようにお願いします。

中テクス：感染拡大の影響として、全国的には家庭ごみの増加や事業系ごみの減少がみられたのですが、この3町においては変動が少ないようです。

委員：くれさかクリーンセンターの状況をみると、緊急事態宣言の発令に合わせて一時的に家庭ごみや粗大ごみの増加、事業系ごみの減少がありましたが、現在は落ち着いてきています。家庭ごみの増加と事業系ごみの減少により、結果として例年とあまり変わらないという結果になっているということが考えられます。

委員長：今後はどうなると予想されますか。

委員：通常の予測で計算すれば処理が間に合わなくなるということはないと思います。多少の増減があったとしても計算の範囲内に収まるものと想定されます。

委員長：施設規模を大きくしてもエネルギーが増える訳ではありませんが、地元住民はエネルギーを求めているということですね。災害対応としては、ピットを大きくするという方法もあります。この議題については、施設規模について、現状はこのような想定になっているということで、次の議題に移りたいと思います。

(3) 基本方針（施設整備、運営）について

委員長：次の議題について、資料の説明をお願いします。

<中外テクノスより、資料3を基に説明>

委員長：ご意見があればお願いします。

委員：人が集まる施設にしたいと考えています。人が集まるということは安全、安心で憩いの場となっているということです。周りの環境も含めて検討していただきたいと思います。

委員：公園の中央に施設があるイメージをしています。私はみんなの意識を良い方に変えていきたいと考えています。それができれば委員を引き受けた甲斐があると思っています。

委員長：多くの地域でごみ焼却施設が邪魔者扱いをされる中、今のご意見は「新しい価値観」だと思います。「色々あったが、施設ができて良かった」と言ってもらえるようにしようということですね。地域の人々の気持ちを汲んでいく必要があります。

委員：今、区の住民や区を離れていった住民にアンケートを実施しています。区の住民の73%は施設の建設に賛同してくれていますが、区を離れていった住民の2/3は施設ができることを心配しています。私は「自分たちのふるさとには施設ができて良くなった」と言ってもらえるようにしたい、キラリと光る村にしたいという思いです。

委員：実現できないことを方針に入れてしまうことにならないかが心配です。

委員：建設の範囲は決まっているので、その中で実現できることということになります。

委員：ゾーニングといったことになるでしょうか。

委員：検討していく順序はあると思いますが、現状は設備が決まっていないので施設の大きさも分かりません。

委員：「あったらいいな」という希望で良いのでしょうか。

委員：3町の町長からは、この委員会に委員として入って、そこで地元の要望等を出してほしいと言われてしています。

委員長：このように地域の方が率先して意見を出してくださることは、これまで私の経験ではあまりありませんでした。この委員会だけでは収まりませんので、ワーキンググループを作って地域の方々の意見を集め、この委員会に出してもらおうということはいかがでしょうか。

委員：確かにこのままでは計画策定のストーリーが見えてきません。

委員長：施設のハード面は良いとして、まちづくりというソフト面の検討においてワーキンググループから意見を出していただきたいと考えます。いかがでしょうか。

委員：委員長の意見に賛成です。

委員：にしはりまクリーンセンターはなぜあの場所に決まったのでしょうか。

委員長：住民の反対や要望等を踏まえてあの場所に決まったようです。

委員：3町みんなと一緒に考えていってほしいと思います。

委員：一般廃棄物処理基本計画は何年の計画ですか。

テクノス：10年です。

委員：「地域や住民に貢献できる施設」という文言は方針に入れてほしいです。また、あの場所であれば太陽光発電は実施可能だと思います。具体的なことは今後決定していくとしましょう。

委員長：みなさん、ワーキンググループへの参加はいかがでしょうか。

委員：メンバーとして参加することはやぶさかではありませんが、地元住民ではないので、リーダーは地元の方をお願いしたいと思います。

委員：若い人や女性の意見を聞きたいと考えています。

委員：中外テクノスさんにも参加していただきたいと思います。

中々テクノス：参加させていただきます。ハード面の検討について、次回の委員会までにメーカーアンケートを実施したいと考えています。そのためには次の議題の検討も必要となります。委員会において、ソフトとハードを並行して検討することは可能と考えます。

委員長：それでは6名の委員の方にワーキンググループに入ってください、まずは地元の意見を整理してこの委員会に報告していただけますか。よろしくお願いします。

(4) 余熱利用計画について

委員長：時間がかかり過ぎていますが、資料の説明をお願いします。

<中外テクノスより、資料4を基に説明>

副委員長：美作クリーンセンターのように16時間運転とすることは難しいのでしょうか。

中々テクノス：過去の事例では県が24時間運転を推奨するといった背景がありました。また、立ち上げの回数が増えるのでダイオキシン類の発生抑制や二酸化炭素排出量の削減という面では24時間運転の方が良いという部分もあります。ただし、発電を実施ということであれば1炉の方が有利です。南但クリーンセンターや宮津与謝クリーンセンターはバイオマス発電を備えた実質1炉構成の施設ですが、問題なく稼働しています。

委員：売電は可能ですか。

中々テクノス：発電量が非常に小さいため、利益は出ないものと考えられます。また、設備の導入費やメンテナンス費の方が高くなる可能性があります。

委員長：どうしても今日決めた方が良いでしょうか。

中々テクノス：メーカーアンケートによってメーカーの意見を聞くということは可能です。

委員：安全面を考えると2炉なのでしょうが、今は過剰な予備を持たない考え方に変わってきています。発電は難しいと思います。

委員：私も予備の話を始めるとキリがないと思います。今はメンテナンス性も良くなってきているでしょうから、どうしても決めないといけないということであれば1炉とする考えに賛成です。

委員：発電の有無と1炉もしくは2炉を組み合わせた4つのパターンでメーカーに見積りをもらうことは難しいのでしょうか。

中々テクノス：メーカーの負担が大きく、難しいと思われます。

委員：安全管理面については美作クリーンセンター以上の施設となるのでしょうか。

中々テクノス：発注の際には仕様書、要求水準書というものを作成し、基準値を条件として受注者に示すこととなります。受注者はその基準値を満足する設備を導入しないといけないので、結果、基準値は守られることとなります。基準値を決めてからメーカーアンケートを実施できれば一番良いのですが、時間的に難しいと思います。

委員：1炉でも2炉でも整備のために要する年間日数はほぼ同じです。2炉の方が優れた面もあ

りますが、神崎郡における施設は1炉でも良いのではないかと考えます。なお、協定の話が出ていますが、協定があっても他地域にごみを運搬することは簡単ではありません。よって、それがリスクにはなると思います。

委員：それでは、発電は実施しないということで、1炉と2炉の2つの見積りをもらうことにしてはどうでしょうか。

中野ケラス：それならばメーカーから見積りをもらえる可能性が高いと思います。次回の委員会で概算費用ぐらいは報告できるように努めます。

委員長：次回、また決めていきましょう。他市でもせつかくの余熱利用設備を使い切れていない事例があります。そうならないためにも地域の声は大事だと思います。本日の委員会は以上にしたしたいと思います。

5 その他

事務局：貴重なご意見、ありがとうございました。また、時間が大幅に過ぎてしまい、申し訳ございませんでした。次回は11月下旬を予定していますが、改めてご案内させていただきます。

6 閉会

副委員長：毎回長時間の検討ありがとうございました。私も建設予定地を見てきましたが、とても素敵な場所だと思いました。個人的には周囲の木々を活かせれば良いのではと思っています。コンサルは丁寧に説明していると感じます。ワーキンググループは大変だと思いますが、よろしく願います。本日はお疲れ様でした。

事務局：ありがとうございました。これをもちまして、第2回神崎郡ごみ処理施設整備基本計画検討委員会を閉会とさせていただきます。

以上